



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

またまた 体育専門アドバイザー 来校 ～専門的な見地から指導いただきました～

18日には福島県教育庁県北教育事務所の「小学校体育専門アドバイザー派遣事業」を活用し、星田弘祐先生に来ていただきました。もうすでに5回目の来校となり、毎月の恒例活動になってきました。子ども達ともすっかり顔なじみになっていて、授業も大変スムーズに行われています。今回はマット運動や跳び箱運動、なわとびの指導をしていただきました。星田先生のお手本は子ども達のあこがれになっています。専門的な技能をもった人が学校に来て、指導して下さることは子ども達にとっては、技能向上の大きなチャンスであり、教師にとっても指導法を学ぶ大事な時間になっています。今後とも積極的に活用していくつもりです。本当にありがとうございました。



図書委員による読み聞かせ

～上級生は下級生を思い、下級生は上級生を慕う姿の象徴～

北小では、月曜日と金曜日の朝（8時00分～8時10分）は「読書の時間」となっています。18日と21日の読書の時間には、図書委員会が下学年の各学級に行って「読み聞かせ」を行ってくれました。図書委員の子ども達が自分たちで考えた活動です。上級生が下級生のために読み聞かせをしている様子には「優しさ」が溢れていました。上級生の姿も



立派でしたが、その話をしっかり聞く下級生の姿も素晴らしいものでした。北小のやさしい「縦のつながり」が見えて、朝からとってもいい気分になりました。

福島を含め、全国の新型コロナウイルス感染者が増加しています。しかし、私たちができることといえば、「3密」を避けたり、マスクをしっかりと着用したり、手洗いを念入りに行ったりなど新しい生活様式に根ざして行動することだけかもしれません。しかし、この行動こそが感染・拡大のリスクを大きく下げるものであることは間違いありません。「感染対策をしても感染してしまった」と「感染対策をしないで感染した」はその後の拡大幅が全く違います。あらためて、自分の命、家族の命、他人の命を守るために一人一人がしっかりと行動をとりたいたいものです。子ども達の行動もよく見てあげてください。案外、気が抜けてしまっている場面も見受けられますので・・・。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切 り 取 り 線